

問1 縄文時代に作られた、人間をかたどった特徴的な土製品である「土偶」について、この道具が作られた主な目的として最も適切なものを次の中から選びなさい。 (2024年 鹿児島県公立入試 類似)

- | | | | |
|----------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|--|
| 1. 豊かな収穫や安産などを祈るための、信仰の道具として作られた | 2. 古墳の周囲に並べ、死者の霊を慰めたり境界を示したりするために作られた | 3. 大陸から伝わった稲作の技術を広めるための儀式的道具として作られた | 4. 食料を保存したり、煮炊きを行ったりするための日常的な容器として作られた |
|----------------------------------|---------------------------------------|-------------------------------------|--|

問2 日本の古代文化における「土偶」と「はにわ」の違いについて、時代背景と目的の観点から説明したものととして正しいものはどれですか。

(2026年 千葉県公立入試 類似)

- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 土偶は権力者の死を悼むために古墳の内部に納められたが、はにわは狩猟の成功を願って森の入り口に置かれた。 | 2. 土偶は弥生時代に大陸から伝わった青銅器の一種であるが、はにわは飛鳥時代に仏教とともに伝わった石像の技術で作られた。 | 3. 土偶は写実的な人物像として奈良時代に完成したが、はにわは縄文時代に土器の蓋として実用的に使われていた。 | 4. 土偶は縄文時代に作られ、豊穣や魔除けを祈る呪術的な道具であったが、はにわは古墳時代に作られ、古墳を飾り立てるための |
|--|--|--|--|